

警 察 署 協 議 会 会 議 録

博多警察署協議会

開催年月日時	平成30年2月14日（水） 同 日	午後4時00分 から 午後5時35分 まで
開催場所	博多警察署8階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下14名
	警察署	署長、副署長、会計管理官、生活安全管理官、地域管理官、 刑事管理官、交通管理官、警備管理官、総務第一課長、総務 第二課長、博多マル暴推進室長 計11名（他事務局2名）
議 事 概 要		
<p>【挨拶】</p> <p>1 会長挨拶 本会議は年度最後の会議であり、また異動期に伴い現メンバーでの最後の会議になる可能性もあるので忌憚のない意見をよろしく願います。</p> <p>2 署長挨拶 昨年度は署員一丸となり業務に邁進した結果、非常に良い結果を残すことができた。今年も更なる結果を残せるよう取り組んでいく所存である。今後ともご理解、ご協力の程よろしく願います。</p> <p>【議事】</p> <p>1 警察署協議会会長連絡会議の結果報告 ～ 会長 (1) 平成30年福岡県警察運営指針等について (2) 飲酒運転の撲滅に向けた取組について (3) 各警察署協議会活動報告 ア ニセ電話詐欺対策及び交通事故対策の取組 イ 少年立ち直り支援活動 ウ 協議会委員等の意見交換会及びビデオレターの作成</p> <p>2 平成29年中の管内治安情勢と平成30年の取組 ～ 署長 (1) 博多マル暴ゼロ作戦 平成21年からの当署の看板施策であり、昨年から現状に即して全面的に刷新し、強力に推進してきた。数字上や中洲関係者の声等から大変成果を挙げていると言える。今後も引き続き、手を緩めることなく取り組んでいく。 (2) 飲酒運転の撲滅 当署管内における昨年の飲酒運転認知件数は過去最小であったが、未だ県下ワースト2位であり厳しい状況にある。飲酒運転事故件数も減少したが、</p>		

議 事 概 要

検挙件数は高止まりしており、多くが高濃度違反者である。今年も徹底して取締りを推進していく。

(3) 性犯罪の抑止

認知件数は、県下全体では減少しているものの、当署管内では増加し、県下ワースト2位である。発生実態をつぶさに検証・分析し、重点的な取締りを推進していく。防犯カメラの設置促進にも注力する。ひとたび発生した場合は、徹底した早期検挙につなげていく。

(4) 特殊詐欺の抑止

県下全体で認知件数、被害額ともに倍増した。当署管内は認知件数は倍増したものの、被害額は減少した。

未遂事件が多数発生しており、その結果被害額が抑えられたという側面がある。「電話でお金は全て詐欺」というキャッチフレーズを浸透させるとともに、管内の病院、金融機関、コンビニを訪問して高齢者に呼びかけを依頼する広報啓発活動を引き続き行っていく。

併せて、「検挙に勝る防犯なし」として検挙にも一層力をいれていく。

(5) 主な活動状況

当署では、昨年も社会的耳目を集める特異な事件事故やイベント対応を数多く行った。今年も署員一丸となって、事件の検挙、予防、イベント対応等にしっかり取り組んでいく。

3 交差点ジャック事件検挙の概要 ～ 交通管理官

福岡市内の交差点等でドリフト走行を繰り返していた暴走族に対し、当署が共同危険行為や幫助等で検挙し、解散させた経緯について説明

4 博多マル暴ゼロ作戦推進室の取組 ～ 博多マル暴ゼロ作戦推進室長

中洲地区に重点を置いた中・長期的な戦略と継続的な取組を行う当署独自の暴力団総合対策について、パワーポイントやテレビ放映録画の視聴を交えて説明

【質疑・意見・要望】

1 委員から

- 暴力団排除に対する警察の努力を改めて認識した。交番のみならず署一体となってやっていることがよく分かった。何事も継続が必要。通常我々一般市民はその努力を知らないなので、私達が言葉で広めていきたい。
- 客引きの定義及び実態について知りたい。
- 客引きは昔に比べてかなり浄化されたように思う。
- 地域で問題が発生した際に博多署に相談したところ、安心することができた。相談する相手がいて良かった。我々委員は地域住民の相談に乗り、必要に応じて、関係機関との橋渡しや窓口となる役目を担っていきたい。
- 警察署協議会で得た知識を地域に還元したり、また地域の情報も知りたい。地域の交番連絡会議に入りたい。

等の意見や質疑が出され、その都度、署長や各管理官から回答がなされた。

【閉会】

地域管理官より、月隈交番の移転及び落成式の案内がなされ閉会した。

議 事 概 要

